

バカとテストと双子の 義兄

神羅可夢偉

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

事故で両親が亡くなった如月恋歌は家族ぐるみで付き合いのある

木下家に引き取られ木下恋歌として新しい生活をする事になり、

木下優子と木下秀吉の義兄になることになる。小学生からの

付き合いである姫路瑞希、親友の吉井明久、土屋康太、坂本雄二達と

描く日常話です。

目次

クラス分けと自己紹介	1
キャラクター紹介男主要キャラ	6
主戦力と観察処分者	12

クラス分けと自己紹介

「やばい遅刻する」と朝から騒いでいる俺木下恋歌は

自分の通っている文月学園の制服に着替えて家を出ることにした。

家には誰もいなかったので鍵を閉めてダッシュで学校までに行っている最中だけど
とりあえず自己紹介、俺の名前は木下恋歌俺には

義理の弟と妹がいる。

妹の名前は木下優子で成績優秀で運動神経が良く美少女と言うこと

なしの妹、弟の名前は木下秀吉成績は優秀とまではいかないが

決して悪くはなく演劇部に所属しており、オペラまでこなせると

将来有望な人材で文月学園では見た目が女の子みたいで

女子扱いされているが本人が嫌がっているため第3の性別秀吉

として扱われている。と言っているうちに学校に着いた。

「おはよう木下、今日は珍しく遅めじゃないか」

と俺に挨拶してきたのは鉄人こと西村先生だ。

「おはようございませす鉄人先生」

「お前、西村先生と呼べと言っているだろ」

「すみません、西村先生はここで何してるんですか？」

と俺が聞くと

「一人一人にクラス分けの紙を渡してるところだ」

と言われた。クラス発表の紙を張り出せばいいのにと

思ったがこの学園長変わってるから仕方ないかと思

自分のクラス振り分けが書いている紙をもらって

自分のクラスに向かった。

たまたま通りかかったAクラスを見てみると

一人一人にシステムデスクと個別エアコンにプラズマディスプレイ、

キッチンなど高級ホテルのような設備だが今の俺には関係ないと思

進んでいると自分のクラスにたどり着いた。

外観からしてかなりやばいなと思いつつ入っていくと、

そこには卓袱台に座布団、割れた窓に腐つていそうな畳など

体が弱い子なら一発で身体を壊す要素が満載である。

「今自己紹介の途中なので自己紹介お願いします」

と俺に話しかけてきたのは担任の福原先生だ。

「わかりました。俺の名前は木下恋歌、そこにいる秀吉と

Aクラスの木下優子の兄です。2人や雄二達を傷つけるやつは容赦なく痛めつけるのでよろしくお願いします」

と自己紹介を終えて座ると

「おはようございます、遅れてすみません」

と言って入って来たのは姫路瑞希、五本の指に入る成績優秀者で俺の小学生の時のクラスメイトの

彼女がここにいることが不審に思っていたクラスメイトが

「なんでここにいますか？」

と聞くと瑞希は「振り分け試験の時に高熱を出してしまったので」と言う周囲のバカは

「ああ俺も熱（の問題）が出たせいでこのクラスに」

「ああ、あれは難しかったよな」

「弟が事故にあつたつて聞いてテストどころじゃなくて」

「黙れ一人っ子」

「昨日彼女が寝かせてくれなくてさ」

「今年いちばんの大嘘ありがとう」

とバカなやりとりをしているはうちに瑞希が俺の横に座り、

「おはようござます恋歌くん」と笑顔で挨拶をしてきたので

「おはよう瑞希」と挨拶を返すと教室のドアが開いて

「遅れてすみませーん」と入ってきて

「早く自己紹介をしろゴミムシ」と雄二から来て早々罵倒されて

いるのは俺の悪友で親友の吉井明久がいた。

「おはよう雄二相変わらずだね、恋歌もおはよう」

と言われたのでおはようと挨拶を返した。

「吉井明久です。僕のこととはダーリンって呼んでください」

「「ダーリーリーイイーローン」」（俺と秀吉と女子以外）

「すみません、忘れてください」

と自分で言っておきながら吐きそうになっている明久を見て

相変わらずだなと思っていると

「おはようアキー」と言いながら明久に抱きついたのは

明久の彼女である島田美波一年の時はよく暴力などを明久に

振るっていたけど今はそんなこともなくデレデレなバカアップルである

「おはよう美波今日も可愛いね」

「アキこそ今日もかっこいいね」

など見ていてブラックコーヒーが欲しくなるやりとりをし終えた後に

雄二が「この設備に不満はないか？」

と言つてきてクラスの連中は「大ありじゃあ!!!」

と返していた。

「学費が安いからってこれはあんまりだ！」

「Aクラスも同じ学費などにどうしてこんなに差があるんだ

差別だ！」

などと好き勝手に言ってるけどAクラスは努力してあそこにいるんだから文句言う

なよと思いつつ黙っていると

「そこで俺はAクラスに試験召喚戦争を仕掛けたいと思う」

と雄二が宣言したのを聞くと俺は楽しみで仕方なくウズウズしていた

キャラクター紹介男主要キャラ

木下 恋歌 17歳

高校2年

体重75キロ

身長180センチ

見た目は奴良リクオ（夜）

ムードメーカーでみんなから好かれるタイプ

困った人がいると絶対に助ける。

女の子には特に優しく余程のことがない限り

手を出さない。

吉井明久とは幼馴染で仲が良い。

両親が亡くなった際に木下家に引き取られ

秀吉、優子の義理の兄になる。

演技は秀吉と同レベルで勉強はAクラスでも

トップを取れるほどだが、Fクラスの方が

楽しそうだと思いわざとFクラスに入る。

得意科目は日本史、家庭科、保健体育

苦手科目は数学、英語

料理は明久と同じぐらいに上手い。

観察処分者で明久と一緒に雑用をしていた

ため召喚獣の操作に慣れている。

木下優子、小山友香などに好意を寄せられている。

喧嘩がとても強く秀吉や優子、明久達に

手を出したりするやつには容赦はしない。

明久と同じで観察処分者である。

召喚獣

服装は夜リクオと同じで武器は衾々切丸

腕輪能力

鬼纏

相手から同意をもらえれば誰とでも

することができる。点数は味方の召喚獣と自分の召喚獣の点数を合計した数になり、

纏った味方の武器や腕輪の能力を使うことが

できる。デメリットは特になし。
ヒロインは木下優子、小山優香、姫路瑞希、
工藤愛子

点数									
現代国語	4	0	0	∩	6	0	0		
古典						3	0	0	∩
日本史	6	0	0	∩	9	0	0		
世界史	5	0	0	∩	8	5	0		
現代社会	4	0	0	∩	6	5	0		
英語W	2	0	0	∩	3	5	0		
英語R	1	5	0	∩	3	0	0		
数学		1	5	0		∩	2	5	0
家庭科	6	0	0	∩	8	0	0		
地理		3	5	0	∩	5	0	0	
保健体育	4	0	0	∩	7	0	0		

総合 4000〜5500

吉井明久

原作より頭が良くなっており、

基本的には400点ぐらい取れる上に

観察処分者で培った操作技術によつて

かなり強くなっている。

観察処分者の称号を恋歌と同じく持っている。

武器は木刀から

日本刀に変わっており、学ランには

朱雀の刺繍が入っている。

日本史、世界史、家庭科は調子がいい時は800点以上とれる。

料理が上手で見た目もカッコよく優しいので

かなりモテるが彼女の島田美波がいるので

あまり興味を示さない。

喧嘩は恋歌ほどではないがそこら辺の不良なら無傷で倒せる。

お金の使い方を考えられるようになっており、

食べ物に困ることとかはなくなつた。

美波にはかなりデレデレしている。

ヒロイン

島田美波

坂本雄二

小学生の頃は神童と呼ばれていたが

勉強の目的を見失い勉強をしなくなり

Fクラスになる。中学生時代は悪鬼羅刹

と呼ばれて不良たちから恐れられていた。

中学生の時に恋歌と殴り合いをしたことが

ありその時は優子と翔子が止めに入ったため

中断されたが互角に渡り合えるほどに強い。

頭が良く全ての教科で300点以上は取れる。

翔子の気持ちにしつかりと正面からぶつかり

受け止めている。

ヒロイン

霧島翔子

土屋康太

寡黙なる性識者（ムツツリーニ）と呼ばれておりエロの知識には誰にも負けないが一番

性に対しての耐性がなくよく鼻血を出し死にかけることが多々あるが男らしさ

かつこいいセリフをよく言うがセリフと行動が噛み合わない

保健体育の点数は教師を超え、恋歌でも

絶対に勝てないほど。

木下秀吉

男の娘で姉の優子とは瓜二つで演劇部に所属しておりオペラまでこなす実力者。

義兄の恋歌とは仲が良く演劇の話とかを

良くする。点数は全教科200点以上は

取れる。文月学園のみんなからは第3の

性別秀吉として認知されておりそれに反論

をしても扱いが変わらない。

主戦力と観察処分者

Fクラスの連中は勝てるわけがない、設備のランクがさらに下がる

と初めから諦めモードだが雄二は

「そんなことない。俺がこのクラスの主戦力を教えてやる」

と言いつつ戦力を紹介していく。

「まず一人目が土屋康太、寡黙なる性識者だ」

と雄二が言いムツツリーニを見ると姫路のスカートを覗いていたので

「康太、瑞希のスカートを覗くなよ」と俺が注意すると

康太は首を横に振って否定していた。

「馬鹿な、奴がそうだといいのか？」

「まだ証拠を隠そうとしているぞ」

「さすが、ムツツリーの名を恥じない姿だ」

などと言っていると雄二が続きを話し始めた。

「島田は数学ではAクラス上位並みで木下秀吉は演劇部のホープだ、

何より姫路もいる」

と言うと周りが

「秀吉俺と付き合ってくれ」

「姫路さんがいれば生きていける」

「島田俺と結婚してくれ」とわけがわからないことを

言っているのを聞いて

「俺の可愛い妹は渡さん」

「兄上、ワシは男じゃ」

「美波にラブコールした奴いますが出てこい」

と俺と明久が微笑みながら言ったのでみんなが黙る。

「そして吉井明久と木下恋歌がいる」と聞くと周りが

「あいつらってそんなにすごいのか？」と言っていたので雄二が

「ああ、この2人は観察処分者で召喚獣の操作に慣れている上に

成績もAクラス主席を狙えるほどだ」

と褒められて俺と明久が照れていると、

「これなら勝てるかも知れない」

「坂本も元神童って呼ばれていたらしいし」

と周りの雰囲気ガラッと変わり明るくなった。

「みんなこの境遇に不満はあるか？」

「「当然だ!!」」

「ならばペンを取れ、出撃の準備だ！」

「「おおー!!」」

と雄二と俺たち以外のFクラスメンバーが言った後に

「お、おー!」と瑞希も可愛らしく返事をしたのでつい

「瑞希可愛いなー」と口に出してしまったらしく瑞希の顔が真っ赤になっただけだ。

雄二が「まずDクラスに宣戦布告をする、明久逝ってきてくれ」

と言うと

「行くの漢字が違うし、大体下位勢力の使者って痛い目見るよね？」

と明久が反論すると

「大丈夫だ、騙されたと思って行ってこいと」

明久にどうしても行かせ用としていたので

「俺も一緒に行くわ、拒否したら霧島に有る事無い事吹き込むから」

と言うと快く快諾してくれたので俺と明久はDクラスに向かおうとする。

「兄上気をつけるのじゃぞ」

「恋歌くん気をつけてくださいね」

「アキ気をつけてね、アキに何かあつたらすぐ行くから」

と女子3人組からえーるをもらったので、

「美波ありがと」

「心配してくれてありがとーな」と言つて出ようとすると

「兄上ワシは男じやと言つておるのに」と言われ

「勝手に心を読むなよ」と言うよ

「兄上の考えてることはお見通しじやと笑いながら言われた。